

北播磨総合医療センター

内科

指導担当医（役職）

原 賢太（部長）

実習概要

概要

北播磨総合医療センターは34科450床からなる高度急性期病院で、北播磨地域の中核病院として地域医療を支えている総合病院の1つです。「高い技術と誇りを持った医療人を育てる」ことを病院の基本方針の1つとしており、学生や若手医療関係者への教育には熱心に取り組んでいます。

内科実習においては、希望に応じて、呼吸器内科、血液・腫瘍内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、総合内科・老年内科・糖尿病・内分泌内科合同ユニットの7つの診療科または1つの合同ユニットから、1つの診療科に割り当てられ、4週間の実習を行います。

（受け入れ可能以上の学生が1つの診療科を希望した場合などでは、必ずしも第1希望に当たらない場合もありますので、ご了解下さい。）

医療面接・身体診察・カルテ記載・症例プレゼンテーション

各診療科ごとに日々のスケジュールは異なりますが、それぞれの診療科において、屋根瓦式の医療チームに配属され、チームの一員として、参加型の診療実習を行います。緊急入院も多く、入院時の初期対応から退院まで一貫して患者を担当します。日々変化する患者に向き合い、診療現場から疑問点・課題を見だし、チームで学び、解決する過程を体験します。

臨床実習2では、基本的な診療能力の定着とさらなる経験値の向上を目標とし、基本的な医療面接および身体診察に加えて、各専門家における専門的な医療面接や身体診察についても、実際の症例から学べるよう指導します。医療面接、身体診察、カルテ記載、担当症例のプレゼンテーションは、チームの一員として行い、リアルタイムに上級医・指導医からフィードバックを行います。

学生には1人ずつ机と電子カルテが提供され、診療記録は実際の電子カルテに記載します。UpToDateなどの必要な情報は院内Webで自由に閲覧可能ですので、自分の机で検索・学習しながらのカルテ記録

やプレゼンテーションの準備も可能です。カルテ記載が終わると、指定した指導医にメッセージが届きますので、指導医が記載内容を確認し、フィードバックとカルテ承認を行います。

担当症例のプレゼンテーションは各診療科のスケジュールに従って行います。内科では、毎週内科全スタッフが合同で行う「内科合同カンファレンス」があります。初期研修医が持ち回りで担当症例のプレゼンテーションと考察やディスカッションも行いますので、他診療科の疾患について学ぶと同時に、プレゼンテーションスタイルや複数の診療科が加わった包括的な診療についても学ぶ機会になります。

その他（特色など）

多くの診療科がありますが、医局は1つにまとまっており、横の連携が密で診療科間の壁のない医局です。1人の患者が多くの疾患や問題を抱えていることも多いため、他診療科との連携は重要ですが、相談しやすい医局の雰囲気は、学生や研修医の学びの場として、非常にいい環境であると思います。

官舎は病院の敷地内にありますが、定員を超える場合は近くのホテルを用意し、いずれかで宿泊できるように準備します。

学生へのメッセージ

教えることに熱心なスタッフが多くいます。臨床実習1で身につけた基本的な診療能力の定着とさらなるステップアップを目指して、一緒に診療しながら学びましょう。